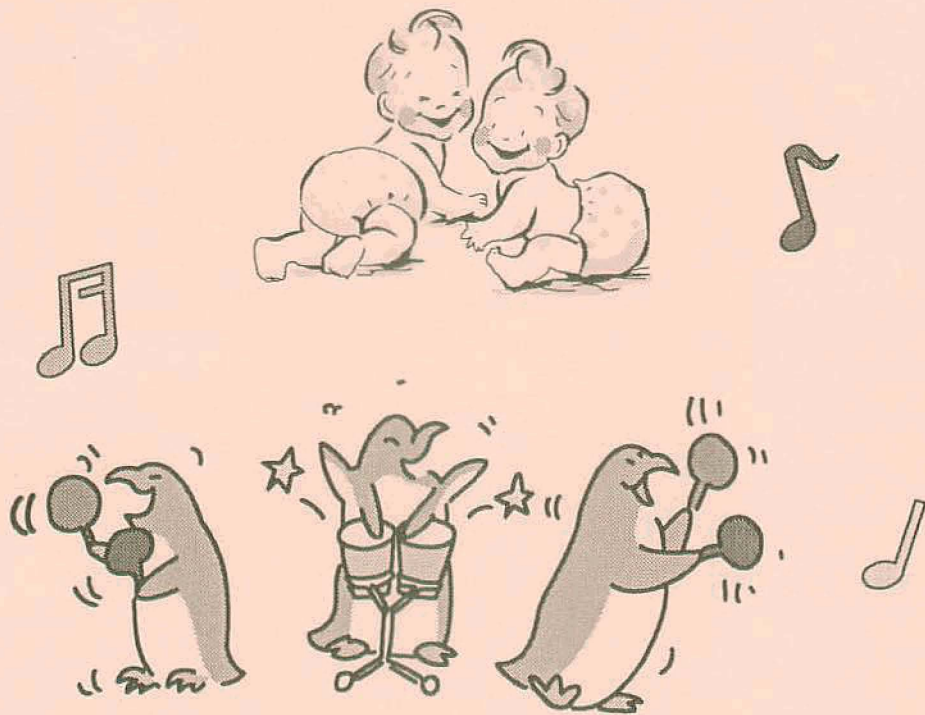


<小学校英語>

コミュニケーションを図ろうとする態度を育てる
楽しい英語学習の工夫

ーリズム遊びを中心とした指導方法を通してー



浦添市立浦添小学校

平良 葉子

目次

I	テーマ設定の理由	1
II	目指す児童像	2
III	研究の目標	2
IV	研究の仮説	2
1	基本仮説	2
2	作業仮説	2
V	研究構想図	2
VI	研究内容	3
1	小学校英語学習のあり方	3
2	発達段階に応じた指導	4
3	リズム遊びを取り入れた指導方法	4
4	リズム遊びの教材化の工夫	6
VII	授業実践	13
1	単元名	13
2	単元目標	8
3	単元について	9
4	指導計画	10
5	本時の指導	13
VIII	研究の考察	17
1	作業仮説1の検証	17
2	作業仮説2の検証	17
IX	研究の成果と課題	20
1	成果	20
2	課題	20
	おわりに	20
	主な参考・引用文献	20

コミュニケーションを図ろうとする態度を育てる楽しい英語学習の工夫 ーリズム遊びを中心とした指導方法を通してー

浦添市立浦添小学校 平良 葉子

【要約】

本研究は、低学年における「楽しく英語に触れる」英語学習を目指し、リズム遊びを工夫した授業展開を試みたものである。コミュニケーションを図ろうとする手だてとして、「友だちとのかかわり」を中心にゲームやチャンツ・歌を工夫して授業に取り入れることで、楽しく英語に触れ活動する姿が見られた。

キーワード □楽しい英語 □チャンツ □歌遊び □友だちとのかかわり

I テーマ設定の理由

浦添市は「国際社会の中で信頼され、活躍しうる国際性豊かな人材を育成する」という目標に、平成16年度から英語教育特区として、市内の全小学校に「英語科」を設置した。

小学校英語科では、「国際感覚の基礎作り、人間形成の土台作り、コミュニケーション能力の基礎作り」を中心に「英語であいさつや自己紹介などの簡単な会話のやりとりができる」ことを目指している。

浦添小学校においては、「コミュニケーション能力」は、豊かな人間関係を築いていく上でも、学校生活はもちろん日常生活において大切な力であるとし、コミュニケーション能力を「伝え合う力」と捉えて校内研究を進めている。学んだ英語を、日常生活の中で表現できるような場の設定を工夫することで、「コミュニケーション能力」の育成を目指した授業研究活動が行われている。

低学年においては、コミュニケーション能力として「相手に聞こえる声ではっきり言う」、「体で表現する」、「相手の目を見て聞く、うなづく」、「相手とのかかわりを楽しむ」ことが大切であると考える。

これまでの実践から、本校の低学年では、週1回の英語の授業をほとんどの子供たちが楽しみにしている。AET (Assistant English Teacher) の先生の英語に興味深く聞き、英語のあいさつのやりとりや歌やゲームなどに大きな声で喜んで取り組んでいる。

しかし、一人では歌声も小さくなったり、受け答

えも小さくなりがちで、自信をもって相手に聞こえるようには話せないことがある。

その実態から、英語の授業に「チャンツ」*を取り入れてみると、子供たちは手拍子やリズムに合わせて、英語を聞こえるままに言葉遊び的な感覚で口ずさむことができるようになった。

このように楽しく英語を話すことは、コミュニケーションの第一歩であるが、実際は授業において、どの題材にどのようなチャンツを、どのように取り入れたらよいのか試行錯誤の状況にある。

教材としての歌やチャンツを年間計画に取り入れそれらを工夫して授業に取り入れることで、楽しく英語に触れ、コミュニケーションをとろうとする意欲につなげていきたい。

また、日常使っているような身近な言葉から英語に触れさせ、それを使ってAETや周りの友だちとコミュニケーションをとるような活動を工夫したい。楽しく英語に触れ、友だちと関わりながら英語に親しむことで、コミュニケーション能力の基礎が培われるようにしたい。

そこで本研究では、子供たちが楽しく活動したくなるようなコミュニケーションの場面を設定し、発達段階に応じたリズム遊びの取り入れ方を工夫することでコミュニケーションの楽しさを実感し「コミュニケーション能力」を育てることができると考え本テーマを設定した。

* 「チャンツ」リズムにのって英語を話すこと

II 目指す児童像

- ・リズムにのって英語活動を楽しむ子
- ・友だちとのかかわりを楽しんで学習する子

III 研究の目標

リズム遊びの工夫と英語を使って人とかかわる授業を通して、コミュニケーションを図ろうとする態度を育てる低学年における指導内容や指導方法を研究をする。

IV 研究の仮説

1 基本仮説

英語科の授業において、発達段階に応じたリズム

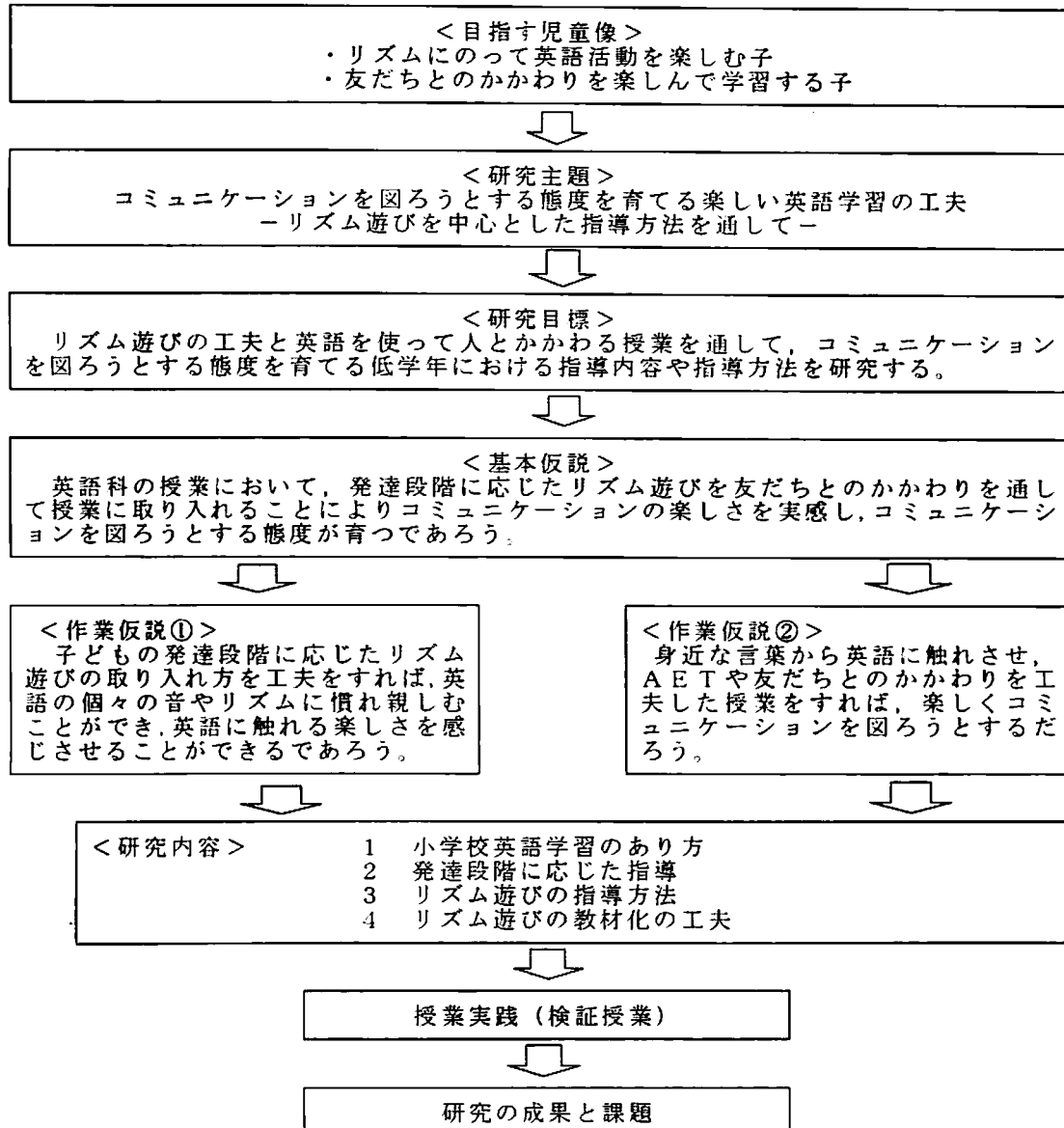
遊びを友だちとのかかわりを通して授業に取り入れることにより、コミュニケーションの楽しさを実感し、コミュニケーションを図ろうとする態度が育つであろう。

2 作業仮説

(1) 子どもの発達段階に応じたリズム遊びの取り入れ方の工夫をすれば、英語の個々の音やリズムに慣れ親しむことができ、英語に触れる楽しさを感じさせることができるであろう。

(2) 身近な言葉から英語に触れさせ、AETや友だちとのかかわり方を工夫した授業をすれば、楽しくコミュニケーションを図ろうとするだろう。

V 研究構想



VI 研究内容

1 小学校英語学習のあり方

(1) 小学校における英語学習のねらい

児童期は、「新たな事象に関する興味・関心が強く、言語を始めとして、異文化に関しても自然に受け入れられる時期」であり、新しいことを学習するのに適していると言われている。特に、右脳の活性が強く、感性が鋭敏で物事を直感的にとらえるこの時期は、言語獲得の最適期であるといわれている。このような時期に外国語に触れることで、母国語以外の言語や異文化に対する興味・関心も高められると考えられる。

宮崎大学教授景浦攻氏は、英語学習のねいを以下の4点にまとめている。

- ① やさしい英語を使ってコミュニケーションする能力を育成する。
- ② 英語を使って、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養成する。
- ③ 様々な言葉や文化に対する興味・関心を高める。
- ④ これから先の国際社会において、子どもが生き生きと生きていくための国際感覚を養成する。

(2) 英語学習における指導の留意点

「小学校英語活動実践の手引き」（文部科学省）及び「小学校英語活動に関する指導方法の研究」（鈴鹿市立教育研究所）を参考に留意点をまとめてみた。

<児童の活動>

- ① 音声を中心とした活動にする
小学校では音声を中心とした活動を通して英語に十分触れさせ、日本語と英語の音の違いに気付かせ、英語のリズムや音の流れに慣れさせる。
- ② コミュニケーションの楽しさを体験させる
小学校においては言語習得が主な目的ではない。言葉そのものだけではなく、声の大きさや調子、顔の表情、身振りなども意識させ

ながら、コミュニケーションの楽しさを体験させることが大切である。

- ③ 文化の違いに気付かせる
英語を通して違ったものの見方（異文化）に触れさせ、言葉だけでなく身振りや考え方や表現の違いにも気付かせる。
- ④ 子どもの日常生活に身近なことから扱う
英語をより身近なものとしてとらえ興味・関心を持って活動できるように、「子どもが必要とする英語」を扱う。
- ⑤ 英語に触れる楽しさを体験させる
いろいろな活動の中で、楽しみながら何度も英語を口にするように、形態も全体、グループ、ペアと変化をつけながら、英語を覚えさせるのではなく、遊び感覚を大切にしていかに英語を楽しませる。
- ⑥ 基本的で応用のきく表現を扱う
一つ知っているだけで様々な場面で使えるような、便利な表現を取り入れる。

<教師の活動>

- ⑦ AET や HRT はジェスチャーを入れて表情豊かに英語を話す
英語の意味をすぐ訳したりせず、子供たちには「大体、こんなことを言っているのだろう」と考えさせる。
- ⑧ 英語をたつぷりと聞かせる。
output（発話）をあせらない
- ⑨ 英語の発音をカタカナに置き換えない。
- ⑩ 1時間で定着させようとしない。

2 発達段階に応じた指導

「英語活動実践の基礎基本」（渡邊寛治）を中心に発達段階に応じた指導方法を考えてみたい。

(1) 子どもの発達段階

- ① 臨界期と言語学習
第二言語習得に関する研究において、臨界期仮説がある。それは、幼児期から思春期までの期間にのみ、言語は完全に習得されるという仮説である。「脳は10歳頃まで柔軟性を保つが、思春期頃になるとその柔軟性が消失

し始める。このことは脳の左半球における脳の一側化が原因である。多くの人の場合、徐々に左半球に集中してくる。年長の学習者が言語学習困難になるのはこういった神経機能の変化による。」約 9 歳（臨界期）以前の子どもは、右脳の発達の影響で外国語を無条件に習得することができるが、9 歳以降の子どもは、左脳の発達で論理的思考をするようになり、それが難しくなるということである。

② 心理的発達の面から

豊教育の現場に「9 歳の壁」という言葉がある。9 歳頃までは、非障害児と同様の知的発達を示すが、それ以降は学習について行けなくなることが多いという。また、心理学面からは、9 歳頃を過ぎると柔軟性が失われ、異質な言語、文化、民族に対して違和感や不快感を持つようになるとも言われている。

外国語教育においては、ネイティブの発音を正確に捉えることができるのは 9 歳 10 歳までとされ、これを「9 歳の壁」と言い、ネイティブと同じ発音・アクセントで話すためのバイリンガル教育には 9 歳までに英語の音に触れておくことが重要視されている。

この頃を過ぎると、だんだん自我意識が強くなり、間違いを犯さないように注意深くなるため、発言の量が少なくなりがちである。

(2) 発達段階における指導の留意点

① 低学年 言葉で遊ぶ段階

- ・英語の音に対して鋭い耳を持ち、聴いた音をそのまま繰り返すことができる。
- ・わからないことをあまり気にせず、間違いを怖れずに発話することができる。
- ・身体表現を喜ぶ。
- ・単純な繰り返しの練習を苦にしない。知っているという安心感があるためか、同じ活動も喜ぶ。
- ・活動時間は短い方がいい。

英語のリズムや音の流れに十分触れさせ、英語の音の流れをまねたり、声に出したりする活動を体ごと楽しめるようにする。

② 中学年 言葉で遊ぶとともに会話を楽しむ段階

- ・知識欲が高まってくる時期で、お話なども集中して聞くことができるようになる。
- ・ゲーム性の高い活動を好み、体を思いっきり動かすことが好きである。
- ・友だちとの関わりのある活動を喜ぶ。
- ・ゲーム性の高い歌を楽しむ。

ゲーム性の高い活動で、英語を使うおもしろさを存分に味わえるような活動にする。

③ 高学年 言葉で遊ぶだけでなく、自分の気持ちをまじえた会話を楽しむ段階

- ・視聴覚など、五感に訴えるものを好む。
- ・単純な繰り返しは好まない。
- ・文化の相違などに関心が高い。
- ・体を動かすゲームより、知的なゲームを好む。

子どもの日常生活に密着した活動や体験を大切に活動にする。

3 リズム遊びを取り入れた指導方法

(1) チャンツ(Chants)

チャンツとは、詠唱を意味する 中世期キリスト教で神を賛美する詩を独特のリズムで詠じたものを Chanting と言い、現在でも修道院等では荘厳な Chants を聞くことができるという。

英語学習で使われるチャンツは、詠唱とは異なる。英語がもっている音のリズムを生かして、リズムカルに英語を発音し、自然な発話を可能にしてくれる学習方法である。チャンツの原理は、1970 年代に Carolyn・Graham 氏（元ニューヨーク大学教授）に考案された教授法ジャズチャンツ（Jazz Chants）にある。

① チャンツの有効性

- ア リズムにのって体を動かすことで心も体もときほぐす。
- イ 無理なく言葉を繰り返させることができる
- ウ 単語を覚える。
- エ 単語の発音や英語特有の音と音のつなが

りに慣れる。

オ 音の強弱による英語のリズムの楽しさを味わうことができる。

カ 言葉を元気よくだすことで自信を持たせられる。

キ 声をだすことに抵抗がなくなる。

ク 日常的な自然な表現に親しむ。

ケ 口慣らしができる。

② チャンツを取り入れる際の留意点

ア 英語のリズムと合うように、リズムやスピードを選択する。

イ 声が聞こえ無くならないようにリズムの大きさに気をつける。

ウ リズムを選択する際に英語特有のきまりを習得しておく。

強いストレス(強勢)を持つ語は、名詞、疑問代名詞、動詞、形容詞である。ただし、これは話し手の心情によって、強勢を置く位置が変わることがある。

エ 強い強勢の数が等しければ、その英語を話すのに要する時間がほぼ等しくなること、一つの強勢から次の強勢にいたる時間はほぼ一定であることに注意する。

(2) ジャズチャンツ (Jazz Chants)

ジャズチャンツは、Carolyn Graham氏(元ニューヨーク大学教授)によって書かれたアメリカ口語英語を学ぶための教材で、ジャズのリズムに英語をのせて学習するものである。「アメリカ口語英語のリズムとジャズのリズムを結合した教授法」とも言われている。ジャズチャンツの基本はリズムであり、それが語学学習 Structure(文法、文型の定着)Function(ことばの機能の定着)Vocabulary(語彙の定着)Sound(ストレス、イントネーション、発音の習得)の4つの側面に活かされている。

① ジャズチャンツ教材について

ア Sound(英語の音、イントネーション)

チャンティングを繰り返すことで英語のリズムやイントネーションは身に付いてく。それに加えて、ジャズチャンツの教材では、

stress(強勢) reduction(弱化) contraction(短縮)についても自然に会話の中で身に付くように取り入れられている。

イ Vocabulary(語彙)

子供たちにとって知っている単語が増えていくのはとてもうれしいことで自信にもつながる。語彙の量は多いほどよいに違いないが、その運用能力を高めるには覚えさせてからではなく、習得の段階で考慮していかなければならない。繰り返し練習する際、音そのものが耳にも口にも楽しいものであることが第1である。ジャズチャンツ教材の題材には、よく使う語に焦点をあて、子供たちの生活に密着した語彙が考慮されている。

ウ Structure(文法、文型)

子供たちにとって身近な英語表現を適切に与えていくという観点に立ち、ジャズチャンツには過去形や現在完了形なども自由に取り入れられている。「～より大きい」「～したことがある」は子供たちが日常普通に使っている言葉である。「比較級」も「過去形」も子どもの目線で考えるということである。

エ Function(機能)

英語によるコミュニケーションを円滑にするためには状況にあった表現方法や言葉の使い方を身に付けておくことが大切である。「英語らしく話す」には豊かな感情表現も必要である。ジャズチャンツでは、さまざまな場面や状況ごとのやりとりに、人間の感情の機微をもユーモアで取り入れられている。ジャズチャンツのリズムによって繰り返しているうちに、だんだんと口がなめらかになり顔の表情もやわらかくなってくる。

③ ジャズチャンツのレッスンの手順

- ジャズチャンツで教えようとする指導目的を設定する。
- 学級の実態、理解度を考慮して無理のない作

品を選定する。作品のテーマ・長さ・語彙・構文・発音・感情表現などの何に重点を置くのかを明確にする。

ア Title

ジャズチャンツには、いろいろなタイトルがついている。タイトルについて話することで意味を想像したり、イメージを持たせる。

イ Tape・CD

テープやCDを繰返し聞かせ、全体の音の流れをつかませる。

ウ Vocabulary・Expression

何をどこまで教えたのかを考慮しながら、作品の中の状況や語彙表現についていみを理解させる。

エ Listen to me

スピードや聴かせる量、声色を調節したりして、読み聞かせる。

オ Rhythm

ビートを強く感じられるものを用いて、文章のストレスの位置やイントネーションなどを認識させる。

カ Let's Chant

リズムにのって言えるようになったら、

グループに分けて、かけあいでチャンツを楽しむ。

(3) 歌あそび

① 歌あそびの有効性

ア リズムにのって体を動かすことで心も体もときほぐし、ウォームアップに適している。

イ 英語の音やリズムに慣れることができる。

ウ 表現や語句が自然に身に付く。

エ 活動の初めや終わり、つなぎ目に取り入れるとスムーズに次の活動に移ることができる。

オ 子どもの気持ちを和らげたり、気分転換を図ったり、雰囲気作りに役立つ。

② 歌を選択する際の留意点

ア 体を動かせるようなリズムカルなもの。

イ 歌詞に繰返しがあるもの。

ウ ジェスチャー化したり、手遊びが楽しめるもの。

エ 自然に覚えられるもの。

オ 年齢にふさわしいもの。

カ メロディが知られているもの。

4 リズム遊びの教材化の工夫

授業で、どの題材にどのようなチャンツや歌を取り入れたらよいか「LET'S CHANT LET'S SING」

「Let's Sing Together」「Songs and Chants」を参考に、発達段階を考慮した活動例を作成した。

(1) チャンツの活動例 (* clap ○ひざを叩く ●強く読む / 1拍 ■1拍休む)

題材名	チャンツ	指導内容	学年	留意点
あいさつ	あいさつチャンツ	T : How are you ? S : I'm sleepy. I'm sleepy. T : How are you ? S : I'm hungry. I'm hungry. T : How are you ? S : I'm fine. I'm fine. T : How are you ? S : I'm happy. I'm happy. T : How are you ? S : I'm great. I'm great. T : How are you ? S : I'm super. I'm super. Yea!	低 中	いろいろな答え方を、動作を入れて楽しむ。 だんだん元気な答えになっていくので、声も大きくしていき、元気なかけ声で終わる。
	またね!のチャンツ	See you later , alligator.のように言葉の音を楽しむ。	中	「I like coffee, I like tea」

色	歌からチャンツ 歌のメロディーをとって、歌詞だけを唱えてみる。	♪ Rainbow * ○ * ○ * * * ○ Red Yellow Pink and Blue * ○ * ○ * * * ○ Purple Orange Green and Rainbow	低 中	○ひざをたたく *手をたたく 「歌とチャンツのえほん」
	12色チャンツ Yea!	12色のカードを見ながら名前を答える。 T: What's this color? S: Yellow T: What's this color? S: Yellow S: Yellow Yellow Yellow 12色全部答えたら、最後に Yea!!と声をそろえて言う	低 中	
	カラータッチ チャンツ	T: Pink * S: Pink * T: Blue * S: Blue * T: Yellow * S: Yellow * T: Black * S: Black * T: Touch something Blue! 色の名前をよく聞き、まわりからその色を探して、それにタッチする。	低	ゲームの中でのチャンツ 教室いっぱい動き、チャンツの声も大きく盛り上がる。
	チャカポコ チャンツ	T: チャカポコ チャカポコ Red S: チャカポコ チャカポコ Red ★ペアで手あそびをしながら S1: チャカポコ チャカポコ Yellow S2: チャカポコ チャカポコ Yellow	低	両手を回し、リズムをとりながら遊ぶ。 「小学生は英語が大好き」
	What Color Is This? 何色チャンツ	What color is this? It's red. * * What color is this? It's green. * * What color is this? It's red and green and black and white and purple. * *	低 中	What の部分に動作を入れると楽しい。 「LET'S SING LET'S CHANT」
	Who is wearing Green? みどり色きてるのどれ?	「I am wearing green today.」からは、その色の服を着ている子が立って答える。ワンポイントでもその色を、自分の服からさがす。	低 中	「歌とチャンツのえほん」
	指さしリレー チャンツ	教室の壁の前後左右に色カードを掲示して、そのカードを指さしながら聞く。 T: What color is it? S: It's ~.	中 高	リズムの音にのりながらやる。
色 文具	The Yellow Chair Chant イエローチェアチャンツ	Purple ruler Pink eraser Yellow chair Yellow chair Purple marker Pink eraser Yellow chair Yellow chair . . .	低 中	ペアで手合わせ遊びを楽しみながらできる。 「LET'S SING LET'S CHANT」
	This Is Blue, This Is a Book.	This is blue. This is a book. This is a blue book. * * This is red. This is a pen. This is a red pen. * * This is a book. This is a pen. This is blue. This is red. This is a blue book. * * This is a red pen. * *	中 高	男の子と女の子でかけあいのチャンツができる。 blue, red, book, pen は動作をつけてやると楽しい。 「LET'S SING LET'S CHANT」
文具	Pencils and a pen.	Pencils and a pen. Pencils and a pen. Two pretty pencils And an ugly purple pen. . . .	中 高	「LET'S SING LET'S CHANT」
色 野菜 果物	この色な～にのチャンツ	T: Red Red What is Red? S: Tomato Tomato Tomato is Red. T: Yellow Yellow What is Yellow? S: Corn Corn Corn is Yellow. T: White White What is White?	中 高	色と果物を組み合わせることもできる。 Apple is Red. Banana is

		S : Radish Radish Radish is White.		Yellow.
野菜	トマトにレタスに	Tomatoes , lettuce , carrots ,and peas , My mother said , at lot of these .	中 高	短いチャンツ 「I like coffee, I like tea」
	言葉のチャンツ 4拍子のリズムに 合わせて言葉を覚える チャンツ	pumpkin / eggplant / corn / ■ radish / sweetpotato / ■ / ■ tomato / cucumber / cabbage / ■ greenpepper / carrot / ■ / ■ spinich / onion / lettuce / ■ brocoli / mushroom / bean / ■	低 中 高	■ 拍が休み 単語のアクセント があるところをは っきりと発音す るとリズムにのり やすい。 手拍子, 足踏み 指でスナップなど リズムのとり方を 工夫する。
虫		grasshopper / ■ / mantis / ■ bee / ant / snail / ■ dragonfly / butterfly / beetle / ■ cicada / cockroach / spider / ■		
果物		orange / banana / grapes / ■ strawberry / apple / water melon / ■		
菓子		ice cream / cake / chocolate / ■ cookies / donuts / candy / ■		
動物		dog / cat / sheep / ■ tiger / lion / monkey / ■ elephant / zebra / horse / ■ giraff / cow / bear / ■		
食べ物	バナナじゃなくて banana チャンツ	日本語的な発音になっている単語を, リズムにの って正しく言えるようにする。 バナナじゃなくて banana パイナップルじゃなくて pineapple ポテトじゃなくて potato . . .	低 中 高	「小学生は英語 が大好き」
	Are You Hungry? おなかすいてる?	歌ではじまり, 24 この食べ物のチャンツへつな がる。	中 高	「Let's Sing Together」
	Mama, Mama, I Want an Apple りんごがほしいよ	Mama,Mama,I want an apple. . . . apple の部分を他の食べ物に置き換えて, 繰返し す。	低 中	「LET'S SING LET'S CHANT」
	What DoYouWant for Dinner?	2つのグループで, 質問と答えのかけあいのチャ ンツをする。	高	「LET'S SING LET'S CHANT」
	Hungry Boy Chant	He wants one egg, two bananas,three hot dogs,と続 く。食べ物の語彙を増やすことができる。	高	「LET'S SING LET'S CHANT」
動物 数	歌からチャンツ	♪Five Little Monkeys ● ● ● ● Five little /monkeys / jumping on the / bead ● ● ● ● One fell / off and /bumped / his head. Ouch! ● ● ● ● Mammy call the / doctor and /the doctor / said ● ● ● ● No more / monkeys / jumping on the / bed	低 中 高	●のところを強く はっきりという。 5匹のかわいい子 ざる達が, ベッド で飛び跳ねている 様子を表したチャ ンツ。
数	Make a circle	Make a circle. ** Make a circle. ** Count the girls. ** One, two, three, four. . . .	低 中	「LET'S SING LET'S CHANT」
	Ten Fat Sausages	● ● ● ● Ten fat sausages sitting in the pan. ● ● ● ● One went pop! And another went bang!	低 中 高	動作を入れて元気 に! 「Let's Sing Together」
数 文具	Books,Books	Books, Books, Count the books. One,two, three, four, five blue books. Chairs, chairs, Count the chairs. One, two, three, four, five brown chairs. . . .	低 中 高	「LET'S SING LET'S CHANT」
時間	何時?のチャンツ	● ● ● ●	中	●は強勢のあると

		What time, what time, what time is it? ***** (手やバチで数を打つ) ● ● It's five o'clock. (数を聞いて答える)	高	ころ
	What Time Is It?	What time is it? It's eleven o'clock. Is it time for lunch? No, it isn't. . . .	高	「LET'S SING LET'S CHANT」
体	歌からチャンツ	♪ Head Shoulders Knees and Toes Head / ■ / Shoulder / Knees and Toes / Knees and / Toes / ■ Eyes and / ears and / mouth / and nose Head / ■ / Shoulder / Knee and Toes / Knees and / Toes / ■	低 中 高	
その他	リレーチャンツ いろいろな質問を 列に並んだままリレ ーのように繰り返して いく。	前の子から後ろの子へ、質問と答えをくりかえし ていく S1: Do you like red? S2: Yes, I do. (No, I do't)	低 中 高	リズムにのって楽 しむ。 低学年では、絵カ ードなどを回しな がら行う。
その他	おたずねチャンツ これ、な～に?	What's this? It's a pumpkin. What's this? * * (clap)	中 高	果物、動物、文具 などでもできる。
	だ～れにしようか な?	Eenie, meenie, minie, moe. Catch a tiger by the toe. If he hollers, let him go. Eenie, meenie, minie, moe. Acca bacca soda cracker Acca bacca boo. Acca bacca soda cracker, Out gose you!	低 中	
	聞いてねチャンツ	Listen, Listen, Listen carefully. Listen carefully, very carefully. Listen, listen, listen carefully. Please be quiet. Sh! . . .	低 中 高	耳に手を当てた動 作をしながら言っ てみる。「LET'S SING LET'S CHANT」
	歌からチャンツ	♪ Pease Porridge Hot Pease porridge / hot / Pease porridge / cold, Pease porridge / in the pot / Nine days / old. Some like it / hot / Some like it / cold, Some like it / in the pot / Nine days / old. ♪ The Bus Song The / people on the / bus go / up and / down Up and / down / up and / down the / people on the / bus go / up and / down All through the / town	低 中	向かい合って手合 わせ遊びをしながら 楽しむ。 「うたおう! マザ ーグース下」
	絵本からチャンツ 「発想転換の子ども 英語」(松香洋子著) より、リズムよく読 めてリズムの習得に 役立つとして紹介さ れている中から3冊 取り上げた。	Brown Bear, Brown Bear, What Do You See? ● ● ● ● Brown bear, brown bear, what do you see? ● ● ● ● I see a red bird looking at me. . . . In a People House ● ● ● ● ● A people House has things like chairs, things ● ● ● ● like roller skates and stairs. Banana, bathtub, The Lady with the Alligator Purse ● ● ● Miss Lucy had a baby. His name was Tiny ● ● ● Tim She put him in the bathtub	低 中 高	リズムがはっきり していて、絵もほ っきりしていて、 繰り返しを楽し い。 家庭の中で日常使 う単語を紹介した 絵本。 たくさんの単語を 覚えられる。 ストーリーがほ っきりしていて、リ ズムがある。家 の中の様子を書いた 絵がほのほのとし ている。

(2) 歌遊びの活動例

種類	歌	遊び方	学年
手遊び	Where Is Thumbkin ?	片手ずつ指を立てながら歌う。間違えずに動作をしながら歌えるようになったら、輪唱しながら手遊びにチャレンジ！	低
	Eancy Weency Spider	両手の人さし指と親指でクモをつくる。リズムに合わせて指を動かしながら歌う。	低
	Open Shut Them	歌詞に出てくる動作をよく聞いて手遊びをする。	低
手合わせ遊び	Good Morning	① 1回手を打って、右手の甲、ひらを順に合わせる ② 1回手を打って、左手の甲、ひらを順に合わせる ③ 合わせた手どうしの左手甲を、真ん中で合わせる ④ 合わせたまま、右手どうしで上、中、下、中でトン	低
	Hello	①★ 1回手を打って、右手どうし ②★ 1回手を打って、左手どうし ③ 2回手を打って、両手でトン ④ 右手をクロス、左手をクロス ⑤ 2回手を打って、両手でトン	低中
	Rain Rain Go Away	①②は★に同じ ③ 右手の平を押し合うように上へ ④ 左手の平を押し合うように上へ ①～④を繰り返す	低中
ジェスチャー	Six little ducks	あひるがクワックワックと鳴きながらよちよち歩く様子をまねしながら歌う。	低
	Little Peter Rabbit	同じ歌詞を繰返して歌う。2番からは、歌わないようにする歌詞をだんだん増やしていき、動作だけにするとところが楽しい。	低中
	Under the Spreading Chestnut Tree	・みんな1番は普通のように歌い、2番から6番までは spreading, banj happy, と歌わないでジェスチャーだけにする部分を増やし間違っただけで声を出したらアウトとするとドキドキ楽しい。	低中
	Old Macdonald Had a Farm	牛、ひよこ、あひる、ぶた、七面鳥が歌の中に出てくる。最初は、かけ声や動物の鳴き声だけを歌うのもいい。	低中
	I'm a Little Teapot	Teapot の様子を歌詞に合わせて、全身を使った大きなジェスチャーで表す。「マザーグース下」に入っている曲は、ビートがきいたロック調になっているのりやすい。	中高
	In a Cabin in the Wood	ひとつの楽しいストーリーになっている歌詞を、ジェスチャーで表現して楽しむ。歌の部分をとっていき、9回目はジェスチャーのみになり、10回目にフルコーラス歌い終わる。	中高
体を動かして	Head Shoulders Knees and Tows	歌に合わせて体の部位をさわっていき、テンポをだんだん速くして動きを楽しむ。	低
	Seven Steps	右へ左へと「One Tow Three Four」動きながら楽しむ。	中
	Bingo	B-I-N-G-O の部分を手を打ちながら歌って楽しむ。拍手のかわりに、足を踏みならしたり、腰を手で打ったりしても楽しい。	低中
	Skip to My Lou	スキップをしながら、パートナーをさがして楽しむ。	中
	I Have a Joy	joy, joy, joy のところは、2人で向かい合って楽しく！	高
輪になって	Make a Circle	" do-o do-do "のかけ声が楽しく、覚えやすい。輪になって英語の指示どおりに体を動かす楽しい歌。	低中
	Hokey Pokey	体の部分を輪の中に入れる、出す、ゆするという動作がおもしろい。体の部分を入れ替えたり、リーダーに合わせてやっても楽しい。	中高
	Sally ,Go Round	右へ左へと手をつないで回り、かけ声で足を蹴り上げる。	中高
	The Muffin Man	鬼になった子が輪の真ん中に立ち、鬼と交互に歌い楽しむ。	高

(3) 第2学年 英語科年間指導計画の作成

指導内容や発達段階を考慮し、チャンツや歌遊びを取り入れた年間指導計画の作成を試みた。指導に際しては、実態に即し修正を加えながら実践していく。

月	題材名	英語表現	歌・チャンツ
4月	あいさつをしよう Greetings ・いろいろなあいさつをする。 ・自分の名前を言う。	1 ・オリエンテーション ・先生と友だちになろう Hi, Hello, How are you?	♪ Hello ペアをかえながら、手合わせ遊びをして楽しむ。
		2 ・あいさつをしよう Good morning. How are you? I'm ~, Thank you. See you next time.	♪ The Hello Song みんなから自分の名前をたずねられたり "My name is ~."で答えたりして楽しい歌。 *あいさつチャンツ
		3 ・名前を言おう(自己紹介) What's your name? My name is ~.	How are you のいろいろな答え方をジェスチャーを入れてチャンツする
5月	数えてみよう Let's count 1~20 ・1~20までの数を数える。	1 ・数えてみよう①(1~10) Let's count ~.	♪ Senen Steps 手をつないでダンスをして楽しむ。
		2 ・数えてみよう②(1~20) Let's count ~.	* Ten fat sausages 動作を入れて元気にチャンツ
		3 ・いくつあるかな。 How many ~? It's ~.	
6月	この色なあに Colors ・身近な色の名前を英語で言う。	1 ・この色なあに① What color is this? It's ~.	♪ Rainbow 色の名前を歌いながら覚える *何色チャンツ
		2 ・この色なあに② What color is this? It's ~.	What color is this? の表現をチャンツで繰り返す。
		3 ・この色なあに③ What color is this? It's ~.	
7月	野菜 Vegetables ・身近な野菜の名前を英語で言う。	1 It's ~. ・この野菜なあに① What vegetable is this? It's ~.	♪ Skip to My Lou スキップをしながらスピーディーに体を動かし楽しむ。 *野菜のチャンツ
		2 ・この野菜なあに② What's this? It's ~.	野菜のカードを見ながら、リズムにのって野菜の名前を言う。
		3 ・この野菜なあに③ What's this? It's ~.	*この色な~にのチャンツ
		4 ・この野菜いくつ?何色? What color is this ~? How many ~? It's ~. Let's count ~.	色と野菜を組み合わせたチャンツを楽しむ。
9月	動物大好き Animals ・身近な動物の名前を英語で言う。	1 ・この動物なあに① What's this? It's ~.	♪ Old MacDonald Had a Farm いろいろな動物の鳴き声や知しながら歌い楽しむ。
		2 ・この動物なあに② What's this? It's ~.	* Five Little Monkeys ジェスチャーをしながら楽しむ
		3 ・この動物なあに③ What's this? It's ~.	チャンツで、Monkeys の部分を他の animals におきかえりともできる。
		・Review	
10月	昆虫 Insects ・身近な虫の名前を英語で言う。	1 ・この虫なあに① What's this? It's ~.	♪ Little Peter Rabbit 簡単な動作を繰り返し、歌わず動作だけの部分を増やしていく遊び歌で楽しむ。 *虫のチャンツ
		2 ・この虫なあに② What's this? It's ~?	リズムにのって虫の名前を覚える。
	ハッピーハロウィーン	3 ・ハロウィーンってなあに Trick or treat.	♪ Ten Little Witches 歌詞の中の witches を、ハロウィ

	Happy Halloween ・ハロウィーンを楽しむ。		Here you are.	ーンのいろいろな語におきかえて歌う。
11月	好きなものなあに ・自分の好きな色、野菜、動物、昆虫について英語で言う。	1	・好きなもの なあに① Do you like ~? Yes, I do. No, I don't.	♪ What do you like? "I like ~."の答え方が歌いながら覚えられる。自分の好きなものの名前を入れて歌うと楽しい。 * Do you like cats? リズムにのってチャンツをしながら、たずね方や答え方に慣れる。
		2	・好きなもの なあに② What do you like? I like ~.	
		3	・好きなもの なあに③ Do you like ~? What do you like?	
		4	・Review	
12月	楽しいクリスマス Merry Christmas	1	・楽しいクリスマス ー外国と日本のクリスマスー What's this?	♪ Jingle Bells 鈴を持って 歌うと楽しい。 ♪ We Wish You a Merry Christmas * * Pease Porridge Hot (あついでのおかゆ) 手合わせ遊びをしながらチャンツを楽しむ。
		2	・クリスマスのかざりを作ろう	
		3	・ゲームをしよう	
1月	ハッピー ニューイヤー Happy New Year. ・新年のあいさつのしかたやお正月遊びを楽しむ。	1	・日本と外国のお正月の話を聞こう。 Happy New Year.	♪ The Hokey Pokey 歌や動作を楽しみながら、歌詞に出てくる体の部分の名前が覚えられる。 * Eenie, Meenie, Minie, Moe ゲームで、最初の人やおにを決めるときもチャンツで楽しむ。
		2	・福わらいをしよう Let's play ~. Please put on your ~.	
		3	・カルタやすごろくをしよう Let's play ~. Your turn. My turn.	
2	教室にあるもの Things in a class ・身の周りの物	1	・これなあに① What's this? It's ~.	♪ I Have a Joy ペアと向かい合い体を動かしながら歌う。 * The Yellow Chair Chant 手合わせ遊びをしながらチャンツを楽しむ。 * What's this? It's a Book.
		2	・これなあに② What's this? It's ~.	
		3	・これ、もってる? Do you have ~? Yes, I do. No, I don't.	
3	習った英語で遊ぼう Total Review	1	・Total Review ① What's this? Let's count ~. How many ~?	♪ Make a Circle * Books, Books 数、色、文具を組み合わせたチャンツで楽しむ。
		2	・Total Review ② Do you like ~? What do you like?	

VII 授業実践

1 単元名 「色であそぼう」

2 単元目標

- (1) 歌やチャンツ、ゲームなどの活動を通して色の名前や簡単な英語表現に触れる。
- (2) 簡単な英語表現を使って、友だちと楽しく活動する。

3 単元について

(1) 教材観

本単元「色」は、児童にとって身近な英語である。「ピンク」「ブルー」「グリーン」「オレンジ」など色の名前は、外来語として日常生活に浸透しており、普段から耳にしている単語が多い。また幼い頃から、絵を描い

(2) 児童観

昨年度から英語科の授業が導入され、本学年の児童は、1学年の頃から週1時間の英語学習をしている。本学年の児童に、5月中旬に実施したアンケートは以下ようになった。

て遊ぶ中でクレヨン等で色の名前を覚えたり、自分の持ち物を色で区別したり「色」に接する機会が多い。

授業で扱う「色」の教材となるものは周りにいくらでもある。第1学年において初めて「色」の学習をした際は、着ている洋服の色を中心に授業を進めた。児童は、自分の洋服に使われている色を見つけながら、英語の色の名前に親しんでいった。洋服の他にも、野菜や果物、学用品、または教室にあるものなど何でも「これは、〇色」「これは、何色ですか？」と授業で使える。

児童の発達段階から考慮し、「色」が生活に密着した言語材料であり、児童にとって親しみやすく、自然に英語に触れ楽しめるのではないかと考え本単元を設定した。

項目	対象 2年4組26人 5月17日実施
1 えいごのべんきょうは楽しいですか。	とても楽しい (65%) すこし楽しい (35%)
2 楽しいりゆうは何ですか。 (複数回答)	えいごをならえるから(15人) ゲームをするから(13人) チャンツをするから(7人) 歌やダンスをするから(5人) えいごで話ができるから (5人)
3 元気に歌うことができますか。	大きな声でできる (42%) 小さい声でできる (46%) あまりできない (12%)
4 えいごをまねていうことができますか。	大きな声でできる (65%) 小さい声でできる (31%) あまりできない (4%)
5 歌やゲームの時友だちとなかよく楽しむことができますか。	とても楽しくできる(27%) まあまあ楽しくできる(57%) あまり楽しくできない(12%) 楽しくできない(4%)
6 先生が話していることがわかりますか。	よくわかる (4%) ジェスチャーなどでわかる (35%) あまりわからない (62%)
7 もっと英語を話せるようになりたいですか。	はい (24人) いいえ (2人)
8 外国の人がいたらどうしますか。	えいごで話してみたい(62%) 身振りで話してみたい(12%) 日本語で話したい(12%) 話したくない(15%)

ほとんどの子が英語の学習を楽しんでいるが、「とても楽しい」と答えた子の割合は65%と低い。また、楽しい理由が「歌やゲーム」よりも「えいごをならえるから」の方の数が上回っていたのも、低学年の発達段階から考えると意外であった。

「元気に歌うことができますか」の項目で「大きな声でできる」が42%、「歌やゲームの時友だちと仲よく楽しむことができますか」の項目で「とても楽しくできる」が27%と低い。「英語を習えるから楽しい」という英語学習における意欲はみられるが、歌やゲーム等の活動では、充分楽しさを感じていないようである。

そこで、歌やゲーム、チャンツを工夫して取り入れることで、楽しく英語に触れさせ、児童の英語学習に対する興味関心・意欲を高めたい。

(3) 指導観

「初めての英語との出会いを心ゆくまで楽しませる」という低学年における指導の留意点に沿い、授業では「英語に触れる楽しさ」を体で感じ取れるような構成を工夫したい。

低学年では、声をだすことも体を動かすことも大好きな子が多いが、本学級の児童はアンケート結果にも見られるように、英語で話したり、歌ったりすることには抵抗のある子が多い。心と体を解放することができる雰囲気作りを常に心がけたい。

指導に際しては、まず英語学習の約束として「目と目を合わせて(Eye contact)」「ニコニコ笑顔で(Good smile)」「大きな声で(Loud voice)」「みぶりを付けて(Big gesture)」の4つの観点を意識づけさせる。(図1参照)この観点から、子供たち一人一人が自分のめあてを持てるようにしたい。また、これが評価の観点にもなるので教師も子供たちも同じ視点で授業を振り返ることができると思う。

授業では、この約束を含めたあいさつのチャンツでリズムよく始めたい。また、歌やチャンツに手遊びや動作を入れて、体を動かし楽しい雰囲気の中で英語に触れさせたい。言語材料は、出来るだけ単純なものにして、それを繰り返すことでどの子も抵抗なく学習出来るようにする。ゲーム等の活動しながら、自然に英語を何度も使えるようにしたい。体を動かして友だちと仲よく英語を使って楽しみ、遊び感覚で英語を繰り返すことで、英語に触れる楽しさを体感させたい。

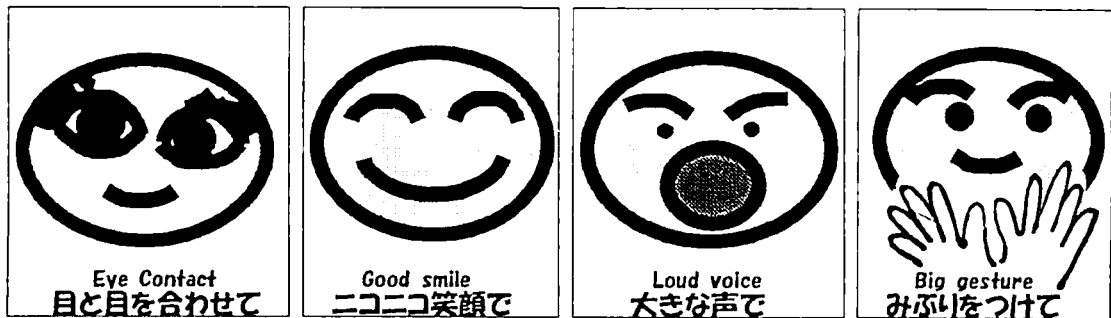


図1 英語学習の4つの約束カード

4 指導計画

月日 Date	題材名 Topics	活動内容 Activities ♪ Song ★ Chant * Game	英語表現 expression	仮説
6/27 Mon	この色 なあに colors	○色の名前を知り、It's ~.の答え方に触れる。 ○色を表す歌や活動を楽しむ。 ♪ The Black Cat Song ★ The Yellow Chair Chant * カラータッチゲーム	What color is this It's ~? . green blue black yellow white red pink purple	作業仮説1 作業仮説2 ・パスワード ・ゲーム(imput) ・聞いてみんなで動く
6/29 Wed	この色 なあに colors	○動作をつけて歌を楽しむ ○ 色を表すチャンツや活動を楽しむ ♪ The Black Cat Song ★ The Yellow Chair Chant * ボールまわしゲーム	What color is this It's ~? . green blue black yellow white red pink purple ruler eraser chair marke pencil	作業仮説1 作業仮説2 ・パスワード ・ゲーム(output) ・全員で質問, 1人で答える
7/4 Mon	この色 なあに colors	○色を表す歌やチャンツを楽しむ。 ○"What color is this ?" "It's ~."の表現に触れる。 ♪ The Black Cat Song ★ What color is this ?	What color is this ? It's ~ . green blue black yellow white red pink purple	作業仮説1 作業仮説2 ・パスワード ・ゲーム(output) ・各グループで1

	授業参観	★ The Yellow Chair Chant * ドンジャンけん		人ずつ答える。
7/11 Mon 本 時	色で あそぼう colors demonstratin	○"What color is this ?" "It's ~?"の表現を使って楽しむ。 ♪ The Black Cat Song ★ The Yellow Chair Chant ★ What color is this ? *カードの色当てゲーム	What color is this ? It's ~ . green blue black yell white red pink purpl	作業仮説1 作業仮説2 ・パスワード ・ゲーム(output) ・ペアをさがして 会話する

5 本時の指導


(1) 本時の目標




- ① 歌やチャンツ、ゲームなどで色に関する表現に楽しく触れることができる。
- ② カードの色当てゲームを通して、「What color is this ?」「It's ~.」の表現を使い、友だちと楽しく活動することができる。

(2) 本時の仮説

歌やチャンツなどに動作を入れた活動や、色のカードを使ったコミュニケーションゲームを工夫すれば、友だちと関わりながら英語を楽しむことができるであろう。

(3) 本時の展開

Procedure	Activities		☆留意点
	Students	HRT	★評価 *準備
Greetings	1 あいさつをする Let's sing! Let's dance! Eye eye eye contact Good good good smile Loud loud loud voice Big big big gesture! Let's enjoy English! Go	「It's time to start!」 ○フラッシュカードを4人の児童に持たせる。 ○4つの約束を1つずつ確かめてから始める。 	☆手拍子を入れ、リズムにのって楽しい雰囲気始められるようにする。 *約束カード
Warm up	2 ウォーミングアップをする。 ① ♪ Black Cat Song を歌う ○2つのグループに分かれて歌の掛け合いを楽しむ。 ② チャンツを楽しむ ・CDに合わせて ・友だちと仲良く 3 復習する。 ① "It's ~."の言い方に慣れる。 "It's ~."の言い方に慣れる。	○歌に出てくる色の名前を、絵を指しながら確かめる。 ○手話の動作を見せて、色の名前を言わせる。 ○2つのグループに分かれて歌わせる ○「Yellow Chair Chant」に出てくる言葉を確かめてからさせる。 ○隣同士のペアでさせる。 What color is this ? * clap It's red. **	*歌の絵 *CD ★楽しく歌っているか。 ★仲よく楽しんでいるか。 *カード *CD ★身振りを入れてリズムよく言えるか。

	<p>③カードを持って、隣の子と質問したり答えたりする。</p> <p>④列ごとに立って一人ずつ、自分の紙を見せて答える。 4今日のパスワードを確かめる</p>	<p>○一人一枚ずつ色画用紙を配る。</p>  <p>○立った子が、持っている紙を見せたら座っている子"What color is this?" と声をそろえて言う。</p>	<p>*色画用紙</p> <p>★自分の紙の色を英語で言うことができたか。</p>
<p>Password</p> <p>Greeting</p>	<p>5一人ずつAETと"What color is this?" "It's ~."の会話をして教室に入る。</p> <p>6 AETの先生とあいさつをする。係の子は前に入る。</p> <p>Sit up straight. (1,2,3) Let's start English Class. (Yes, Let's go!)</p>	<p>教室で児童を並ばせカードで復習をしておく。</p> <p>AET responds the students' question.</p> 	<p>★ AETと目と目を合わせてパスワードを言っているか。</p>
<p>Activity</p>	<p>A: Good morning, everybody. S: Good morning, Carl. How are you? A: I'm ~, thank you. How are you? S: I'm ~.</p> <p>7 Yes No ゲームをする</p> <p>A: It's Monday today. A: It's rainy today. A: This T-shirt is pink. A: Tomatos are red.</p> <p>○ AETの先生の言葉をよく聞いて、大きな身振りで答える。 "YES! YES! YES! or NO!"</p> <p>8 ゲームをする。 カードの色当てゲーム 一人カードを3枚ずつ配り、カードの色当てゲームをする。 はじめにAETとHRTがお手本を見せる。 ①音楽によってスキップをする。"Stop!"の合図で止まる。 ②"Make a pair."で近くの子とペアになる。 ③声をそろえて"Rock, Scissors, Paper 123!"と言いながらじゃんけんをする。 ④負けたらカードの色が見えないように出して、"What color is this?"と質問する。 ⑤勝った子は、相手のカードの色を予想して"It's ~."と答える。 ⑥カードの色が当たったら、そのカードをもらえる。 ⑦"Thank you!" "See you!"と言ってわかる。 ⑧またスキップをしながら次のペアをさがす。</p>	<p>○わかりやすいように、ゆっくり、はっきり言う。</p> <p>○手拍子を入れてリズムにのって答えられるする。</p> <p>AET explain the game to the students briefly. AET and HRT give a demonstration of the game.</p>	<p>★ AETの先生を見てしっかり聞いているか。</p> <p>*カード * CD ♪ Skip to My Lou *タンバリン</p>
<p>Conclusin</p>	<p>9今日の学習を振り返る</p>		

(4) 評価

- ① 歌やチャンツ、ゲームなどの活動を通して、色の名前や簡単な英語表現に楽しく触れることができたか。
- ② 簡単な英語表現を使って、友だちと楽しく活動できたか。

VIII 研究の考察

1 作業仮説1の検証

子どもの発達段階に応じたリズム遊びの取り入れ方を工夫すれば、英語の個々の音やリズムに慣れ親しむことができ、英語に触れる楽しさを感じることができるであろう。

(1) 手だて

① リズム遊びの取り入れ方の工夫

楽しい雰囲気です授業に入れるように、授業のあいさつを工夫した。手をたたきリズムをとりながら、掛け合いのあいさつから始めた。

② チャンツ

英語の音やリズムに慣れるようにチャンツでの繰り返しの練習を取り入れた。「The Yellow Chair Chant」では色の名前を言いながら手遊びを楽しみ、「What color is this?」のチャンツでは英語の表現に慣れるように留意し、動作を入れて楽しむようにした。

③ 歌

低学年ではあるが、歌うことが「楽しい」と答える子が少ないという実態から、手話のような簡単な動作なら抵抗なく身体を動かして歌えると考え取り入れた。

(2) 結果

① 授業前後のアンケート調査の結果より

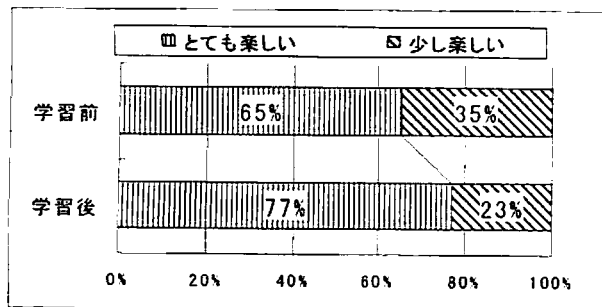


図1 英語の勉強は楽しいですか?

「とても楽しい」「少し楽しい」「あまり楽しくない」「楽しくない」の4項目の中で、全員が「楽しい」

と答えている。

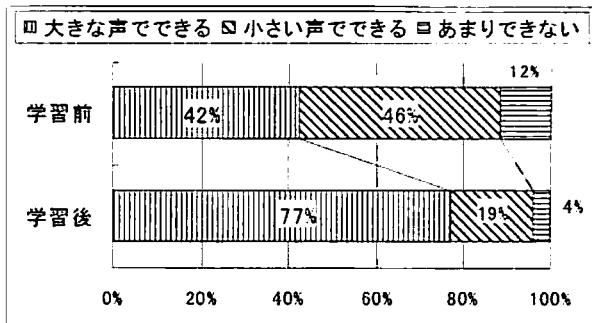


図2 英語の時間に大きな声で歌うことができますか

「大きな声のできる」42%から77%になり、「あまりできない」12%が4%に減った。

② 児童の感想 (ふりかえりカードより)

えいごふりかえりカード
2年 1組

きょうのおべんきょうは、どうでしたか。
あてはまるものを○でかこんでね。

①きょうのえいごは... **楽しかったよ** みつうかな 楽しくなかった

②きょうのえいごは... **よくわかったよ** すこしわかったよ わからなかった

③お友だちと仲よく... **とてもできたよ** すこしできたよ できなかった

④4つのやくそくはできたかな。

よくできた
みつうかな
もうすこし

よくできた
みつうかな
もうすこし

よくできた
みつうかな
もうすこし

よくできた
みつうかな
もうすこし

かんきょう
楽しかったこと、おぼえたこと、がんばったことなどを書いてね。

カールジ先生のえいごがよくわかったしとてもきんちょうしたけど、にこにこかおどってもかんばった。
ゲームもとてもたのしかった。

・色のチャンツや、くろいねこの歌の色の手話がおもしろくて、わかりやすく、よかったです。 Yさん

・きょうのチャンツは、とてもたのしかったです。みんなで言ったのが、たのしかったです。 Kさん

(3) 考察

友だちと手遊びをしながら歌ったり、動作を入れながら歌ったことで、恥ずかしさなど歌への抵抗が軽減され、図2から分かるように大きな声で歌えるようになったと考える。

また、「目と目を合わせて」「ニコニコ笑顔で」「大きな声で」「みぶりをつけて」の4つの観点を示すことで、感想にもあるように子供たちはそれを意識しながら授業に取り組めたと思われる。



チャンツを楽しんでいる様子

2 作業仮説②の検証

身近な言葉から英語に触れさせ、AETや友だちとのかかわりを工夫すれば、楽しくコミュニケーションをとろうとするだろう。

(1) 手だて

毎時間、AETと授業についての話し合いを持つようにした。「大きな声で歌えない」「英語をまねて言うことができない」という子どもに合わせて、子どもの負担にならないよう「楽しませる」ことを第一に考えた。

言語材料も多くせず、繰り返し触れさせることで「英語は難しくない、楽しいな」と感じさせるよう配慮しながら授業を作っていた。

授業では、AETは全て英語で話し、子供たちが英語に多く触れ、英語の正しい発音やイントネーションを知ることができるようにした。また、AETには、話をするときに身振りを入れてもらったり、表情豊かにゆっくり話してもらうことで、子供たちが英語の意味を予想できるようにした。

① パスワード

英語ルームでは、AETが入り口で一人一

人と会話をする。AETが一对一で子どもと向き合うことで、一人一人の実態をつかみながら、「少しでも話せた」ことを認めてあげるようにした。

また、パスワードで使う表現は、AETにたずねられて答えるのが基本であるが、後半の2時間は、AETにたずねて答えてもらう形にした。

② ゲーム

同じ表現を、いくつかのゲームで場面を変えて使えるようにした。

第1時**カラータッチゲーム** input 中心・集団
教師が言う言葉を聞いて、全員で動く
第2時**ボールまわしゲーム** output 中心・集団
全員で“What color is this?”と聞く
ボールを持っている子は、カードを見て“It’s ~.”と答える。
第3時**ドンジャンけん** output 中心・グループ・
カードを指しながら色の名前を言う。
第4時**カードの色当てゲーム** output 中心・ペア
相手を見つけて会話をする

(2) 結果

① 授業前後のアンケート調査の結果より

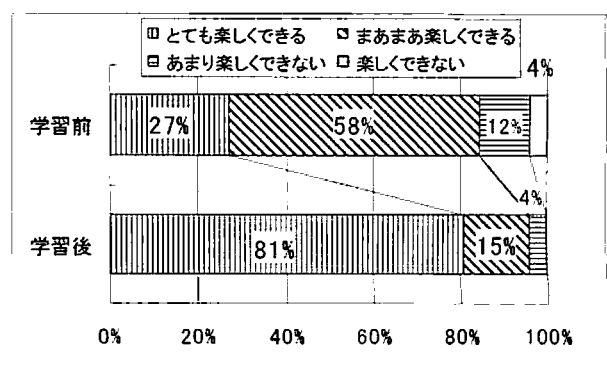


図3 歌やゲームの時友だちと仲よく楽しむことができますか

「とても楽しくできる」と答えた子は、検証前は27%と低かったが、検証後は81%になりゲームを通して、友だちとのかかわりを楽しんでいることが分かる。

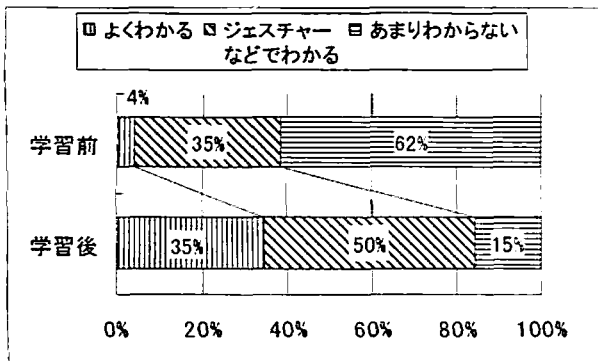


図4 先生が話していることがわかりますか

検証前は「あまりわからない」が61%であったが、検証後は15%になった。ほとんどの子が理解できるようになった。

② 児童の感想 (ふりかえりカードより)

・カール先生に「ワツカラーイズディス」とはじめて聞いて、すぐ答えてくれました。
楽しかったです。 Rくん

・今日のゲームは、じゃんけんは1回も勝てなかったけど、えいごで色をいえたから楽しかったです。おもしろかったです。 つぎは、じゃんけんにも勝ちたいです。 Mさん

☆ Aさんの感想より

第1時
ゲームの時、おににならないかどきどきしました。

第2時
ゲームをやる時間が少なかったからもっと多くしてほしい。

第3時
じゃんけんゲームが、楽しかったです。みぶりを
するとき、がんばりました。

第4時
ちょっときんちょうしたけど、とっても楽しくて
おもしろかったです。 1ばんブラックキャットソングが楽しかったです。

(3) 考察

AETとの話し合いを、毎時間行ったことで、役割分担や授業のねらいを明確にすることができた。

AETとのパスワードでの会話は、子供たちの英語を話すことへの緊張感をやわらげることができ、AETへの親近感をもたせることもできた。授業が終わっても、AETから離れずハイタッチを楽しんだり、話しかけたりという様子が見られるようになった。パスワードは、「AETの質問に子どもが答える」形式に「AETにたずねる」形式を後半の授業で取り入れたところ、子供たちにとっては新鮮であったようだ。児童の感想にあるように、英語を話すことへの自信につながったと思われる。

図4からは、友だちと仲よくゲームを楽しんでいることがわかり、コミュニケーションをとろうとする意欲の高まりが見られる。AETとの話し合いで、常に子どもの実態を考慮しながらゲームを選定したことで、子供たちはゲームを楽しめたと考える。

Aさんは、普段から友だちとにぎやかに遊ぶ方ではない。授業においても消極的であったが、感想を見ると友だちとゲームを楽しむことができるようになってきたことが分かる。

えいごふりかえりカード
2年組

きょうのおべんきょうは、どうでしたか。
あてはまるものを○でかこんでね。

①きょうのえいごは... 楽しかったよ ふつうかな! 楽しくなかった

②きょうのえいごは... よくわかったよ すこしわかったよ わからなかった

③お友だちと仲よく... とてもできたよ すこしできたよ できなかった

④4つのやくそくはできたかな。

Can speak
と目を合わせて よくできた ふつうかな もうすこし

Good smile
ニコニコ笑顔で よくできた ふつうかな もうすこし

Look happy
大きな笑顔 よくできた ふつうかな もうすこし

Hand raise
手をあげて よくできた ふつうかな もうすこし

かんそう
楽しかったこと、おぼえたこと、がんばったことなどを書いてね!パスワードで
さいに、は聞かされたけど、ごんごは聞くほうになりました。
でもはじめて言うかに、かんたんに言えました。言葉あとがムバたぞと思いました。

Ⅸ 成果と課題

1 成果

- (1) 子どもの発達段階を考慮しながらチャンツや歌を授業に取り入れたことで、子ども達は、楽しく英語に触れることができた。
- (2) AETとの打ち合わせを常にもつことで、役割分担や授業のねらいが明確になり、子ども達とAETとのかかわりもうまくとれるようになった。
- (3) 授業で使えるチャンツや歌を分類することができた。

2 課題

- (1) 実際に、保育園や小学校で、英語を母語とする子ども達に親しまれているチャンツや歌を調べる。
- (2) 高学年におけるチャンツ教材の工夫をする。
- (3) 小学校英語学習におけるコミュニケーションを図る手だての工夫をする。

おわりに

去年から、英語の授業が、毎週1回 AET とのチームティーチングで行われるようになりました。英語で授業をすることに、英語に自信のない私にとっては、ドキドキでした。

得意ではない英語と向き合い、この6ヶ月間、楽しい英語の授業を目指して、研究に取り組んできました。英語に自信を持つことはまだまだできませんが、「英語の勉強って楽しい！」と思えるようになりました。今は、この「楽しい！」を、もっと子ども達と共有したいという思いでわくわくしています。これからは、この研修で得たものを実践の場で活かせるようにがんばっていきたいと思います。

最後になりましたが、研究期間中、たくさんの指導助言を頂きました浦添市教育委員会の諸先生方、指導主事の上原周子先生、英語コーディネーターの宮城妙子先生に深く感謝申し上げます。また、本研究所の比嘉信勝所長、當間正和係長、石川博基指導主事はじめ職員の皆様、そして、いつも温かい励ましの言葉をかけて下さった浦添小学校の新垣せい子校長先生、職員の皆様に心より感謝申し上げます。半年間共に研究を進めてきた33期の研究員の先生方にも、たくさん支えて頂きました。本当にありがとうございました。

<参考文献・引用文献>

『小学校英語活動実践の手引』		文部科学省	2001
『小学校英語教育の手引』	景浦攻	明治図書	1997
『小学校英語活動マニュアル』	景浦攻	明治図書	2001
『小学校英語指導の基礎・基本』	渡邊寛治	教育開発研究所	2003
『小学校の英語教育』	金森強	教育出版	2003
『「英語活動」のカリキュラムプランニング』		東京書籍	2001
『小学校英語活動に関する指導法の研究』		鈴鹿市立教育研究所	2005
『小学生は英語が大好き1』	松香洋子	松香フォニックス研究所	1999
『小学生は英語が大好き2』	松香洋子	松香フォニックス研究所	2003
『LET'S CHANT LET'S SING 1』	Carolyn Graham	OXFORD UNIVERSITY PRESS	
『LET'S CHANT LET'S SING 2』	Carolyn Graham	OXFORD UNIVERSITY PRESS	